

# 平成29年度 Aセメスター 授業時間割

相関基礎科学系(B, C, D1, D2グループ)

	1限(8:30~10:15)	2限(10:25~12:10)	3限(13:00~14:45)	4限(14:55~16:40)	5限(16:50~18:35)
月				1310A・1320A [16-827]	相関基礎科学演習Ⅰ・Ⅱ
火		0970A [16-119] 量子力学GⅡ 加藤雄介	0510A [16-827] 物質機能解析学Ⅰ 増田 茂・角野浩史	0500A [16-827] 物質構造解析学Ⅱ 錦織紳一	
水		0370A [16-119] 凝縮系の物性Ⅰ 前田京剛			
木	0400A [16-827] 凝縮系の物性Ⅳ 深津 晋	0280A [16-827] 繰り込み理論 福島孝治	0430A [16-119] 応用計測学Ⅱ 酒井邦嘉		
金		0560A [16-827] 分子機能学Ⅰ 村田 滋・寺尾潤	0220A [16-827] 場の量子論Ⅱ 加藤光裕		

- ・「量子力学GⅡ」は統合自然科学科「量子力学Ⅲ」との合併講義である。なお、本講義は博士課程には開講されない。
- ・「物質機能解析学Ⅰ」は、統合自然科学科「物質基礎科学特論Ⅲ」との合併講義である。なお、本講義は博士課程には開講されない。
- ・「凝縮系の物性Ⅰ」は統合自然科学科「物性物理学Ⅱ」との合併講義である。なお、本講義は博士課程には開講されない。
- ・「応用計測学Ⅱ」は統合自然科学科「物質基礎科学特論Ⅰ」との合併講義である。なお、本講義は博士課程には開講されない。
- 基礎科学科、統合自然科学科でこれらの科目の単位を修得している学生は、聴講しても大学院の単位としては認定されない。
- ・「場の量子論Ⅱ」は理学系研究科物理学専攻「場の量子論特論」(22年度までは「場の量子論ⅡA」、23~25年度は「素粒子論特論」との合併講義である。理学系研究科物理学専攻で単位を既に修得している学生は、「場の量子論Ⅱ」を聴講しても総合文化研究科の単位としては認定されない。
- ・次の科目を集中講義として実施する。詳細は、後日掲示等により周知する。  
「相関基礎科学特殊講義Ⅴ(中山 優)」「相関基礎科学特殊講義Ⅶ(藤井啓祐)」「相関基礎科学特殊講義Ⅷ(石原純夫)」「相関基礎科学特殊講義ⅩⅠ(秋山隆彦)」「相関基礎科学特殊講義ⅩⅡ(池田思朗)」「理論物理学特論(石橋延幸)」
- ・時間割番号(左上の数字)は、修士31M283-×××××、博士31D283-×××××となる。